

一斉審査方式の概要

2017年度版

一般社団法人 日本技術者教育認定機構
(JABEE)

www.jabee.org

一斉審査方式とは

- 審査方式（進め方）の区分
 - **個別審査方式**^(注)：単一のプログラムを審査長がとりまとめる**単一の審査チームで審査する**（通常の審査方式）
 - **一斉審査方式**：同じ教育機関に所属する複数のプログラムを審査団長がとりまとめる複数の審査チームから成る**1つの審査団で審査する**（実地審査は全プログラムを同日に実施）

（注）以前から実施している「同日審査」は、個別審査方式であるが、複数の審査チームが同じ日にまとまって実地審査を行う審査方法

- 使用する認定基準、基準の適用・解釈は一斉審査方式も個別審査方式も変わらない
- 2014年度審査から開始

一斉審査方式の目的

- 教育機関（学部等）全体でのJABEE認定への取り組みを促すのに適した審査方式とする
- 複数プログラムを同時に横通しで見ることにより、審査員が担当するプログラムの一長一短を把握し、審査の質の均一化と向上を図る
- 審査の効率化とコスト削減により受審側／審査側の双方の負担を軽減する
- プログラムあたりの受審単価を引き下げて、受審プログラムの財政的負担を軽減し、新規認定プログラムの増加につなげる

一斉審査方式による審査の特徴

- **審査団長**は主にプログラムの共通部分（大学、学部等が定めた各プログラムに共通のルールやそれに従って共通に実施している部分）を審査する
- **審査チーム**は主に担当プログラムの固有部分（プログラムが独自に実施している部分）を審査する
- **審査団長**は審査団を統括し、各プログラムの審査結果に関し主審査員と調整する。また共通部分の審査に関し主審査員と協議して判定を定める
- 必要に応じて**副審査団長**を審査団に加えることができ、副審査団長は審査団長を補佐する。補佐の内容は審査団長と副審査団長で相談して決める
- 各審査チームの審査結果は審査団長と主審査員で調整した後、最終審査結果とする

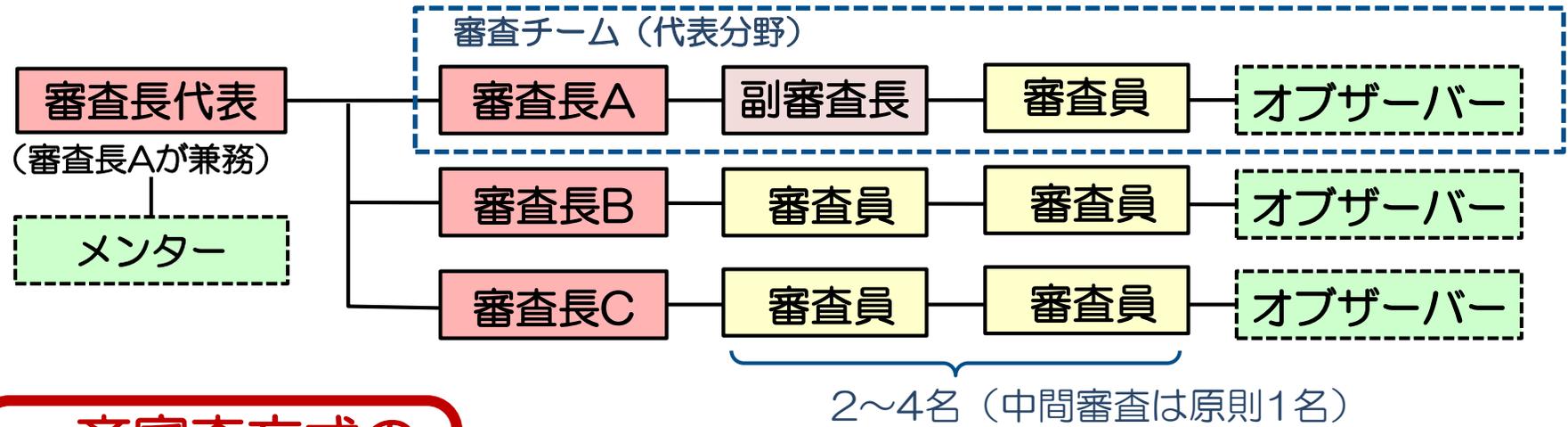
一斉審査方式での審査対象

- 大学学士課程、大学院修士課程
- 高専のプログラム（学士課程）及び建築系学士修士課程は、一斉審査方式の対象外
- 原則として認定継続審査を対象とするが、新規審査のみあるいは認定継続審査と新規審査の混在ケースにも適用可能

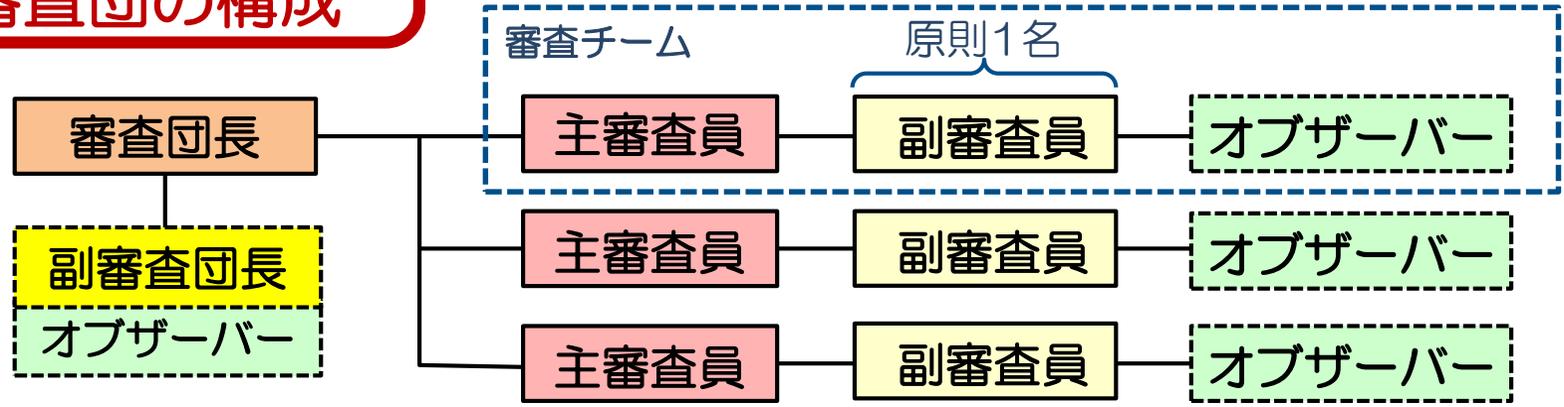
審査団／審査チームの構成

個別審査方式の 同日審査団の構成

注：大学同日審査の場合（高専複数少人数プログラム同日審査は除く）

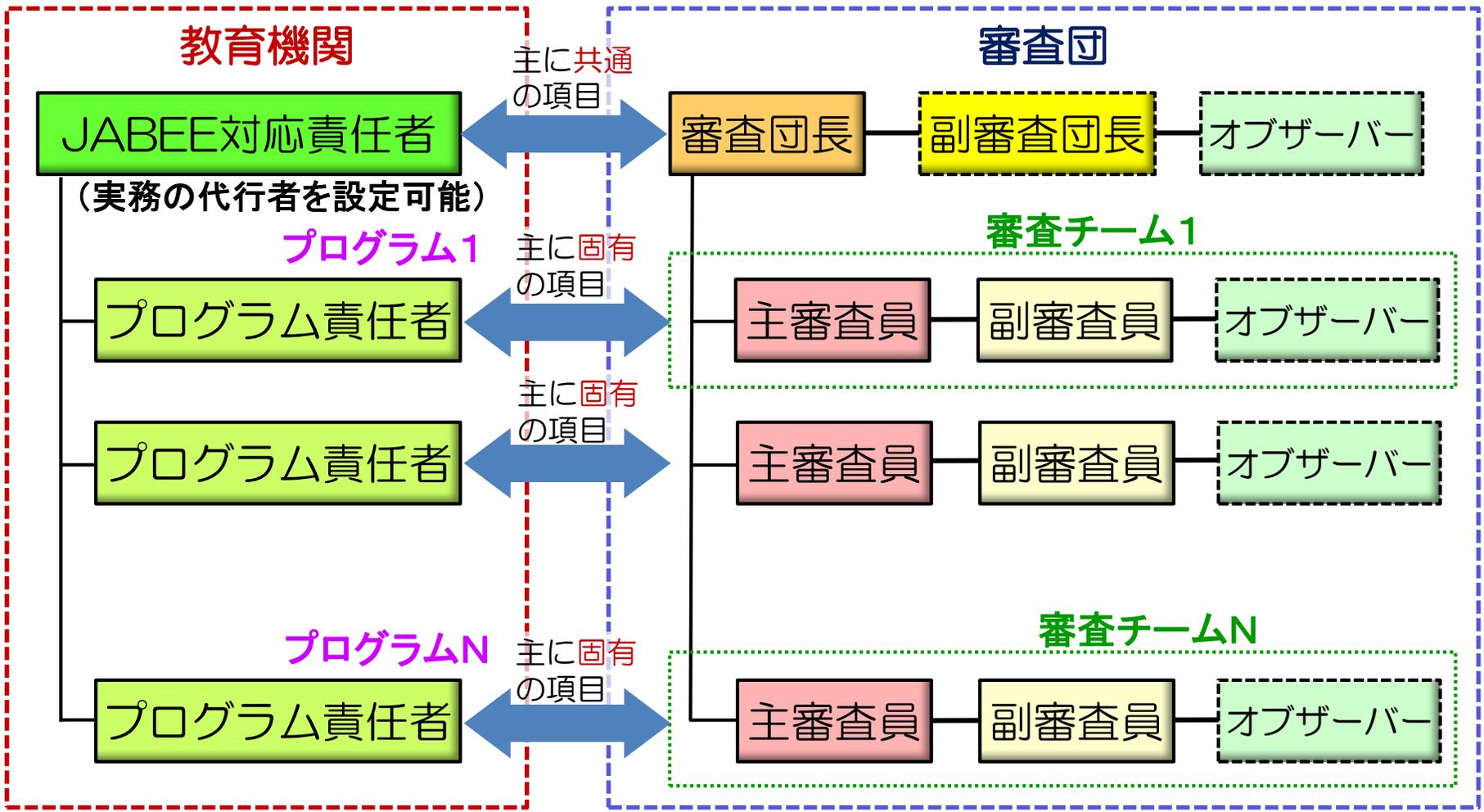


一斉審査方式の 審査団の構成



審査団と教育機関の関係

- 審査団長は主にJABEE対応責任者と、主審査員は主に各プログラム責任者とコミュニケーション



一斉審査で作成する文書

- プログラム点検書と審査報告書（個別審査方式と同様に**プログラム単位**に作成する。）

文書	作成	提出先
プログラム点検書 (実地審査前)	主審査員（審査チーム） プログラム	プログラム ⇔ 主審査員
見直し プログラム点検書 (実地審査最終面談時)	主審査員（審査チーム）	プログラム
プログラム点検書 (実地審査後)	主審査員（審査チーム）	プログラム
審査チーム報告書	主審査員（審査チーム）	分野別審査委員会
分野別審査報告書	分野別審査委員会	認定・審査 調整委員会
最終審査報告書	認定・審査調整委員会	認定会議 [承認後]プログラム

根拠・指摘事項への記載例

- 共通部分と固有部分が混在する項目では共通部分と固有部分の指摘を分けて記載する。
 - 共通部分の弱点をプログラムが補っている例 —

審査団長が作成し、各主審査員に渡す

例：基準2.1(2)

<p>2.1(2)</p>	<p>(2)カリキュラムの設計に基づいて、科目の授業計画書(シラバス)が作成され、当該プログラムに関わる教員及び学生に開示されていること。シラバスでは、それぞれの科目ごとに、カリキュラム中での位置付けが明らかにされ、その科目の教育内容・方法、到達目標、成績の評価方法・評価基準が示されていること。また、シラバスあるいはその関連文書によって、授業時間が示されていること。</p>	<p>C</p>	<p>[共通部分]工学部共通のWebシラバスが提供されており、各プログラムのカリキュラム設計に基づくシラバスを教員が登録し、学生が活用していることを確認した。シラバスでは、当該科目の担当教員・授業時間、学習・教育到達目標に対する当該科目の位置付け、科目の教育内容・方法、成績の評価方法の記載欄は設けられているが、科目の到達目標と成績の評価基準の記載欄が設けられていない点に<u>弱点がある</u>。</p> <p>[固有部分]一方、本プログラムでは各教員が授業開始時に科目の到達目標を学生に伝えることを申し合わせ実行されており、Webシラバスの<u>弱点を補っていることが確認できた</u>。ただし、成績の評価基準についてはSABCDの点数範囲を示しているのみで、到達目標との対応が示されていないことに<u>懸念がある</u>。なお、プログラムに関わる全科目のシラバスが作成されていることを確認した。</p> <p>したがって、Webシラバスシステムの更改、および科目の到達目標と成績評価基準の<u>明確な改善が望まれる</u>。</p> <p>各主審査員が作成</p>
---------------	--	----------	---

審査結果の審議・調整手順

- 基本的には個別審査方式と同じ。
 1. 分野別審査委員会において、分野内での審議・調整を実施
 - ・主審査員が出席して説明し、意見を述べる。
 - ・審査団長は必要に応じて出席し、意見を述べることができる
 2. 認定・審査調整委員会において分野間での審議・調整を実施
 - ・審査団長が出席して説明し、意見を述べる
 - ・分野代表委員と審査団長の意見を聴いた上で認定・審査調整委員会が最終判断
 3. 認定会議で認定可否を決定、理事会で承認。

教育機関／プログラムへの依頼事項

- 認定申請書に記載する実地審査候補日は一斉審査の実施対象の全プログラムで統一する
- 自己点検書において、**共通部分に関する説明は文字色を変えて表示**する（色は当該教育機関で一斉審査を実施する全プログラムで統一する）
- 自己点検書の共通部分の説明文は、当該教育機関で一斉審査を実施する**全プログラムの自己点検結果編に全く同じ内容を記載**し、色は当該教育機関の全プログラムで統一する
- JABEE対応責任者（またはその代行者）は審査団長の求めに応じて、各プログラムの必要な取りまとめを行う

一斉審査と同日審査[高専除く]の比較

項目	一斉審査	同日審査
全般	<ul style="list-style-type: none"> 複数プログラムの実地審査をまとめて実施 共通部分は主に審査団長が審査し、各プログラムの固有部分は主に各審査チームが審査 	<ul style="list-style-type: none"> 複数プログラムの実地審査をまとめて実施 各プログラムの審査は各審査チームが実施
審査団	<ul style="list-style-type: none"> とりまとめ: 審査団長 (JABEEが選任し派遣) 審査チーム: 主審査員 + 副審査員 (合計2名) 	<ul style="list-style-type: none"> とりまとめ: 審査長代表 (代表分野の審査長が兼務) 審査チーム: 審査長 + 審査員 (合計3名以上、ただし高専は2名)
審査団長 / 審査長代表の役割	<ul style="list-style-type: none"> 審査団長は実地審査をまとめて実施するため受審校のJABEE対応責任者(またはその代行者)と調整し、実施をとりまとめ 主に共通部分を審査 全プログラムの審査を統括 認定・審査調整委員会に出席して意見を述べる 	<ul style="list-style-type: none"> 審査長代表は実地審査をまとめて実施するため受審校の対応リーダーと調整し、実施をとりまとめ
審査結果の調整	<ul style="list-style-type: none"> 各プログラムの審査結果は審査団長と当該審査チームの主審査員で調整 審査団長とりまとめで主に共通部分を審査チーム間で調整 (意見が分かれた場合の最終判断は審査団長) 	<ul style="list-style-type: none"> 審査長代表とりまとめで主に共通部分を審査チーム間で調整 (意見が分かれた場合の最終判断は各審査チーム)
審査報告書の名称	<p>プログラム点検書(実地審査後) 審査チーム報告書</p>	<p>一次審査報告書 二次審査報告書</p>

一斉審査方式の概要 終

必ず当該年度の情報をJABEEウェブサイト
の「認定・審査」ページから！

審査にあたっては、あるいはオブザーバーとしての参加にあたっては
必ずその年度の審査用文書類、様式等を使用してください。

<http://www.jabee.org>